

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|---------------|
| ○事業所名 | にじいろキッズらいふ篠ノ井 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年12月2日 | | ～ 令和7年 12月26日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 37 | (回答者数) 23 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年12月2日 | | ～ 令和7年12月22日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 14 | (回答者数) 14 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | お子さんの発達特性により環境設定やグループ編成を行っていること。 | ・調理や制作活動をする部屋と体を動かす活動の部屋を分けて、分かりやすい空間作りをしています。友だちにこだわりが強いお子さんについてなど特性に応じて、グループや環境を変えるなどの配慮をしています。 | ・すべての職員が、お子さんの発達特性を理解し、意図的に環境設定していることがわかるように努めています。 |
| 2 | 毎日の活動計画を作成して職員間で共有していること。 | ・その日の活動計画の中に、担当する児童や職員の動き、準備するもの等を記載しています。すべての職員が主体的に動けるようにミーティングで確認しています。 | ・日々の振り返りについても、すべての職員から声が聞けるようにしていき、次回の活動に生かせるようにしていきます。 |
| 3 | 全職員対象の研修会を年2回実施し、連携して情報共有等ができています。 | ・すべての職員に対して、職員行動指針、虐待防止、身体拘束等の研修を実施しています。不適切な支援をなくすために、グループワーク等で話し合いをしています。 | ・環境設定や発達特性等について、専門職による事例検討を行う機会を設けて、日々の支援に生かせるようにしています。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|-------------------------------------|
| 1 | 避難訓練や各種マニュアル等の情報が、保護者全員に届いていないこと。 | ・避難訓練の実施や各種マニュアルは策定しているが、保護者への周知が十分にされていない。 | ・毎月のお便りやオクレンジャーを活用し、保護者への周知をしていきます。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |